

# 企業主導型保育施設を

## 利用してみませんか？

企業主導型保育施設ってどんなところ？申し込み方法は？  
多様な働き方に応じて柔軟な保育サービスを提供する  
企業主導型保育施設の特徴やメリットをご紹介します！



### ◆◆◆ 企業主導型保育施設って？ ◆◆◆

企業主導型保育施設とは、どのような施設なのでしょうか？  
まずは、設立に至った背景や施設概要についてご紹介します。

#### 企業主導型保育施設とは

企業主導型保育施設は、国が行う「企業主導型保育事業」によって  
施設の設立や運営のための助成を受けている保育施設です。



こどもまんなか  
こども家庭庁

<https://www.cfa.go.jp/policies/kokoseido/ryouritsu>

#### 企業主導型保育事業とは

企業主導型保育事業は、従業員の多様な働き方に応じた保育を提供する企業等を支援するとともに、待機児童対策に貢献することを目的として、平成28年度に内閣府\*が開始した企業向けの助成制度です。

助成対象である「企業主導型保育施設」は全国に約4,500施設あり、約11万人分の就学前児童の受け皿となっています。 ※令和5年度からは、こども家庭庁に移管



企業主導型保育事業ポータル  
<https://www.kigyounaihoiku.jp/>



利用検討中の保護者さま  
<https://www.kigyounaihoiku.jp/users>



企業主導型保育施設検索  
<https://www.areamarker.com/kigyohoiku/top>



# 企業主導型保育事業の特長は？

企業主導型保育施設は「働く世代」を応援するため、さまざまな形態で運営されています。場所・時間・サービスなど保育ニーズに応じた多種多様な特長やメリットをご紹介します。

## ◆◆◆ 企業主導型保育施設の特長をご紹介します！ ◆◆◆



### # 施設について

認可保育所並みの施設・保育水準を備えています

年に1度、児童育成協会による監査を実施しており、認可保育所と同等の厳しい設置基準をクリアしています。



### # 保育料について

認可保育所と同等の保育料です

企業主導型保育施設は認可外保育施設のため、保育料は施設が設定します。(企業主導型保育施設は幼児教育・保育の無償化制度の対象です)



### # 利用地域について

利用地域は限定されません

居住地域に制限されず、通勤に便利な場所にある保育施設に申し込むことができます。



### # 入園申し込みについて

施設に直接、利用申し込みをします

入園申込時は自治体を通さず、直接施設に申し込みをします。また、入園の決定も各保育施設が行います。



### # 利用について

夜間や土日、一時預かり・短時間利用が可能な施設があります

「週2日だけ」「一日3時間」等、多様な働き方に応じた柔軟な保育サービスの提供が可能です。



### # 病児保育について

病児保育を行う施設があります

病中※にある子どもを預かる「病児保育」／病気の回復期※にある子どもを預かる「病後児保育」を行う施設を利用することも可能です。  
※医師の診断によります。

## 企業主導型保育施設のうれしいメリット

「認可保育所並みの施設・保育水準」と「認可外保育施設の多様性・柔軟性」を兼ね備えた企業主導型保育施設のメリットをご紹介します。

	認可保育所	企業主導型保育施設	認可外保育施設
基準	施設の設置基準、保育従事者の配置ほか運営基準等は認可保育所と同水準		認可保育所と基準が異なる
助成	施設の工事費や運営費に認可保育所並みの助成を受けている		国からの助成がない(一部、独自に助成を行う市町村がある)
多様性柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村に利用を申し込み、市町村が施設を指定する</li> <li>住民票のある地域の施設に限られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地域に限られず利用したい施設に申し込むことができる</li> <li>提供する保育サービス(開所日/時間/保育プログラム等)に独自色を出せ自由度が高い</li> </ul>	

## さらにうれしい3つのメリット

